

古い家の 新しい暮らし

AKITAKATURNS FILE.

着るもの、食べもの、暮らすところ。

生きるため 最低限必要なものって
だいたいこのくらい。

着るものは個性を映すおまじない。
自分らしくいられるものを纏おう。

食べるものは体をつくる源。
健やかな日々のために、おいしいものを頂こう。

では、暮らすところは。

足の裏で触れる床板、廊下を抜ける風、
窓から見える景色…

私たちはみんな、今、最も新しい時間を生きている。
新鮮な時間を生きるよろこびで
心と体を満たしてくれる家を選ぼう。

一度しかない人生。
私たちには、暮らす場所を選ぶ自由がある。
“新しい”家を建てるも自由。
そして、“古い”家に住むも自由だ。

物語の舞台は、広島県・安芸高田市。
“古い家”に手を入れて、自分好みの
“新しい暮らし”をしている人たちを訪ねました。

